（第3種郵

日本の歴史塗りかえる

相沢忠洋氏逝く

行商の傍ら世紀の発見

岩宿遺跡

日本古代の扉（あけぼの）を開けた「岩宿遺跡」の発見者として知られる相沢忠洋氏（あいざわ・ただひろ＝赤城人類文化研究所長）が二十二日午前十時三十分、脳出血のため桐生市内の病院で死去した。六十二歳だった。相沢氏は昭和二十一年から二十三年にかけて、新田郡笠懸村岩宿の関東ローム層で、わが国で初めて縄文土器以前の旧石器を発見し、日本古代史の学説を大きく書き換える糸口をつくった。旧石器文化研究の第一人者、芹沢長介・東北大名誉教授は「偉大な人を失った」と語り、県内文化財保護関係者からも「もっと研究を続けてほしかった」と、その死を惜しむ声が強い。自宅は勢多郡新里村奥沢五三七。密葬は二十三日午後二時から桐生市広沢町五丁目四七四六の市斎場で、告別式は六月十日午後二時から同斎場で行われる。喪主は妻の千恵子（ちえこ）さん。

旧石器時代の研究に打ち込むあり し日の相沢氏

相沢氏は大正十五年、東京に生まれた。父が歌舞伎の笛師だったことから各地を歩き、昭和十二年桐生市に移り住んだ。その後、東京・浅草の観物問屋に奉公に入ったが、このころから考古学に興味を持ち始め、上野の国立博物館へ通うなど独学で勉強した。兵役に従事三年に復員、約五年ぶりなどの行商をしながら考古学研究を進め、赤城東南麓（ろく）を中心に土器、石器などの発見に力を注いだ。そして二十四年、新田郡笠懸村の稲荷山丘陵地の関東ローム層から、日本で初めて縄文以前の旧石器時代があったことを証明した。「相沢氏が見つけた小さな鳥章が試掘を行った結果、吉代人が風雨を避ける小さな家や、動物の骨にはめんで捕を切るために使った『槍先形石器』であることが判明。これによって、日本に人類が住みついた時期が、一挙に数万年もさかのぼって考えられるようになった。

当時から相沢氏と「師弟」をしてきた桐生市立図書館の相馬純八館長さんは「この人が風雨を避ける小さな家や、動物の骨にはめんで捕を切るために使った『槍先形石器』であることが判明。これによって、日本に人類が住みついた時期が、一挙に数万年もさかのぼって考えられるようになった。

当時から相沢氏と「師弟」をしてきた桐生市立図書館の相馬純八館長さんは「このころ、当時はかなり経済的に苦しい状況のようだったが、そんなことは意に介さず、研究に没頭していた。その後、相沢氏と新田村の元宿遺跡を発掘調査しようとしていた。研究所を設立し、まっすぐな志の思いは強くなっていった。

相沢さんと新田村の元宿遺跡を発掘調査しようとしていた。研究所を設立し、まっすぐな志の思いは強くなっていった。

大発見が世間で認知されるまで十年の歳月を費やした」と振り返るが、これを機に全国各地で同じような遺跡が次々に発見され、日本史は大きく書き換えられていった。岩宿遺跡は現在、国指定史跡として保存されている。

二十二、三年ごろ、相沢氏に招かれて初めて自宅を訪れた松島栄治・群馬考古学会長は「私はまだ群馬の学生だったが、赤城南麓に一番古い土器や石器を見つけたと言って自慢をしていた相沢氏に頭が下がる思いがしたものだ。その時、部屋中に積み重ねられた土器や石器を見せられたが、大発見となった十年前に遺跡発掘を続けていたんですね」と感慨を新たにされる。

四十二年、日本における旧石器時代の研究で第一回吉川英治賞を受賞した相沢氏は「赤城人類文化研究所」を設立し、翌年からは宇都宮大講師などを招かれた。

四十八年、同村と岩宿遺跡より古いとする「茂呂遺跡」の発見を発表。同遺跡について考古学グループ「茂呂遺跡」の発見を発表。同遺跡について考古学グループ「茂呂遺跡」と命名されていた。

一方、県文化財専門委員、県中央図書館長を務めるなど郷土文化の振興に貢献、三十年に県功労賞を受けている。金銭の研究所を設立して、貧（れい）困文化に寄与する夢と情熱を燃やしていたが、五十五年に脳出血で倒れてからは入退院を繰り返し、五十八年以降はほとんど寝たきり状態だった。

志半ばにして逝った相沢氏に対し、根岸重昭・県文化財保護課長は「本県の考古学研究者の多くが相沢氏の学問に影響を受けた。唯一、県内の考古学者として、県文化財保護関係者の間に悲しみがかけっている。

旧石器時代を証明

私の半生左右した人

芹沢長介・東北大名誉教授

出土したと聞き、ショックを受け、旧石器研究を始めた。その意味から、相沢さんは私の師匠。縄文時代の研究は、相沢さんの発見に負うところが大きい。

今夏「岩宿展」を計画

千吉良晃・県教育長の話

相沢さんの考古学研究に対する情熱には、頭が下がる思いがした。日本の旧石器文化を明らかにしようと研究の道を歩み、数々の業績を残した。その偉大な意志は人々の心に強い印象を与えた。今年は岩宿遺跡の発掘から五十周年、県立歴史博物館ではこの夏、「岩宿展」の開催を計画していたが、残念です。

元宿遺跡発掘を共に

松島栄治・群馬考古学会長の話

「相沢さん」と初めて会ったのは、昭和二十二、三年ごろ。当時はかなり経済的に苦しい状況のようだったが、そんなことは意に介さず、研究に没頭していた。その後、相沢さんと新田村の元宿遺跡を発掘調査しようとしていた。研究所を設立し、まっすぐな志の思いは強くなっていった。

ちょっとした油断が、大事故のもと。
ひとりひとりの心掛けで、
交通事故を追放しよう。
モーターボート競走の収益金は、
住みよい社会づくりに役立っています。
財団法人
日本船舶振興会
（会長 笹川良一）

予約受付中!!
プレーの後はゆったりと温泉で心身ともにリフレッシュ!
平日優待パック券
¥14,500
（グリーンフィ・昼食代・税・キャディフィ1R・昼食が含まれます。）
消費税を含む。他には一切かかりません。
パック券ご希望の方、お電話下さい。
月夜野インターより7分
群馬カントリークラブ
TEL.0278(64)0321

屋根で同工場七百七十平方メートルのうち南東部分約二百平方メートルが焼け、出火当時工場内は無人だった。

赤城山麓に広がる緑と安らぎのふる里
犬・猫・ペットの墓園
赤城メモリアルパーク
鈴多郡富士見村大字石井☎0272-88-2083

時の話題

マヘアショーピアノを ジョイントさせた「ヘアーコンサート」

（理美容材料卸・タムラ王座）が二十二日、前橋・群馬県生産会館で開かれた写真。

マヘアーコンサートは、従来のヘアショーに生のピアノ演奏を加え、関係者だけでなく一般の客にも楽しんでもらおうというユニークなもの。

▽同日は、インストラクター二人がモデルを使い舞台に登場。ピアノのメロディーに乗せ、最新のヘアモードをスタイリングする鮮やかな手さばきに、来場者たちも驚ろかされていた。

家庭教師協会 生徒募集中
信頼される豊富なスタッフ
君とふたりで明日をめざして!!
本気を出して頑張ろう。本気になれば目の色が変わってくる。
もし、目の色が変わってこなければ、まだ本気になっていない証拠だ!!
全日本家庭教師センター連盟公認　信用ある業者の選定が決め手です。
最適な指導方法を研究のうえ
優秀な教師を自宅へ派遣し、
最大の効果を目指します。
中央家庭教師協会
高崎事務局☎61－8588㈹
前橋事務局☎33－4332㈹
桐生事務局☎54－2285㈹

新発見!!　こんにゃくの効用
●食物繊維のチャンピオン
●お腹すっきり、こんにゃくの力
●おいしく食べてダイエット
●糖尿病、コレステロール等に好影響
水と緑と太陽のくに群馬は日本一のこんにゃくの産地です。
群馬県にこんにゃくが伝わったのは室町時代と言われています。その後江戸時代に恵まれ、大きな産地に発展してきました。昭和28年以来チャンピオンの座を守り続け今では全国の70パーセントの生産量を誇っています。
■5月29日は"こんにゃくの日"
こんにゃくをご家庭でお楽しみください。中華風、洋風、何でもオーケー。サシミはこれからの季節にぴったりです。
群馬こんにゃくまつり
5月29日(月)
●みそおでんのプレゼントと特売
県下農協店舗で午後1時から
実施団体〈群馬県こんにゃく生産協会〉
●こんにゃく鍋を楽しむ会
前橋敷島公園キャンプ場（利根川河畔）で午後3時から
実施団体〈群馬県こんにゃく協同組合〉
参加自由　無料です
群馬県こんにゃく消費拡大推進協議会
☎0272(23)1111 内線2907（群馬県流通園芸課内）

夏期講習生向特別講演会
小林克也来る!
私の英語体験
―現代青春シーンと英語―
日時・6月4日(日)午後2時～4時
場所・高崎商業高校
予備校の常識を超えた
オール単科
夏期講習会・72単科講座
●受付/5月28日(日) AM9:00～
（パンフレット配布…5/25）
英・数・国・理・社、科目別、実力別
目的別単科がズラリ!!
"お仕着せ"の『総合コース』でなく、
"自分にピッタリあった"単科を!!
小林克也プロフィール
1941年広島県生まれ。慶応大在学中よりガイド資格獲得、同時期DJとしてスタート。現在、俳優・ミュージシャンなど幅広く活躍。ポップスを語れば第1人者。英米人アナウンサーを英語の正確さ力強さで寄せつけず、日本企業の海外用英語CMのナレーションをほとんど独占していたことはあまり知られていない。
牡牢座。A型
※夏期講習生全員に講演会整理券を配布します。
高崎校―各教科、実力別64単科
前橋塾―少人数(40名)のハイレベル単科8講座
※詳しくはパンフレットをご覧下さい。
圧倒的合格率を誇る
大学受験 小野池學院
高崎校／〒370 高崎市栄町15-3 ☎0273(22)8260(代表)
R前橋塾／〒371 前橋市南町3-15-3 ☎0272(21)3555(代表)

この印刷物の文章・写真等の著作権は上毛新聞社が保持しています。無断転載、複製及び頒布は禁止します。